

発達の特徴と保育の連続性

| 0歳児             |                       |  |   | 1歳児  |            |  |                                | 2歳児   |   |   |  |
|-----------------|-----------------------|--|---|--|------------|--|--------------------------------|---|---|---|--|
|                 | 発達の特徴                 | ねらい  | 内容  | 発達の特徴  | ねらい        | 内容   | 発達の特徴                          | ねらい   | 内容  |   |  |
| 健やかに伸び伸びと育つ     | 全身運動<br>手指の運動<br>生活習慣 | <ul style="list-style-type: none"> <li>首がすわり、手足の動きが活発になる</li> <li>寝返り、おすわり、はいはい、つかまり立ち、伝い歩きをする</li> <li>手、指に触れたものを握る</li> <li>指先で物をつかむ、つまむ</li> <li>食事、睡眠、遊びの生活リズムができてくる</li> <li>ぐずる、泣く等で眠り、空腹、排泄など生理的欲求を伝える</li> </ul> | 伸び伸びと体を動かし這う、歩くなどの運動をしようとする<br><br>食事、睡眠等の生活リズムの感覚が芽生える           | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの発育に身体を動かして遊ぶ（坂道はいはい、トンネルくぐり、戸外散歩など）</li> <li>おもちゃを目で追ったり、口に入れたり、触ったり、握ったりして遊ぶ</li> <li>一人ひとりのリズムに応じて午睡をする</li> <li>一人ひとりに応じてミルクや離乳食を飲んだり食べたりする</li> </ul> | 心身の健康      | <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行し始める</li> <li>立つ、座るなど自由に体勢を変えられることができる</li> <li>指先が自由に動かせるようになり、つまむ、叩く、引っ張る、ちぎるなどする</li> <li>身の回りのことを自分でしたい気持ちが出てくる</li> </ul>          | 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ    | <ul style="list-style-type: none"> <li>戸外で十分に遊ぶ</li> <li>ひっぱるおもちゃ、乗り物、玩具、プレイボード、積木などのおもちゃで遊ぶ</li> <li>スプーンを使って食べようとする</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行が安定し、しゃがむ、跳び、走るなど基本的な運動動作を獲得する</li> <li>指先に力が入り、押さえる、引っ張る、ねじるなどする</li> <li>スプーンやフォークを使って食事をする</li> <li>大人に手助けされながら着脱、排泄を自分でしようとする</li> </ul>   | 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする<br><br>健康、安全な生活に必要な習慣に気づき、自分でしてみようとする気持ちが育つ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>走ったり、跳んだり体を使って遊ぶ</li> <li>一人でこぼさず食べるようになる</li> </ul>                    |
|                 | 自己の発見<br>対人関係         | <ul style="list-style-type: none"> <li>親しみをもっている人を目で追う</li> <li>あやすと笑い、語りかけに喃語やしぐさで応答する</li> <li>特定の大人との愛着関係が育まれ、人見知りをする</li> </ul>  | 安心できる環境で身近な人と親しみ、関わりを深め愛情や信頼感が芽生える                                | 一人ひとりの生理的欲求を十分満たせる環境<br><br>・いないいないばあ遊びやくすぐり遊びを保育者にしてもらう<br>・他児の様子をじっと見たり、動きを目で追ったりする  | 人との関わり     | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己主張が始まる</li> <li>身近な人に関心をもちかわろうとする</li> <li>自分の思いを指さし、身振りなどで伝えようとする</li> </ul>   | 生活を楽しみ、身近な人とかかわる心地よさを感じる       | <ul style="list-style-type: none"> <li>友だちや保育者のしていることをまねて遊ぶ</li> <li>保育者との関わりの中で自分の気持ちを安心して表す</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己主張が強くなる</li> <li>「自分で」したいなど認めてほしいという気持ちが強くなる</li> <li>生活の簡単な見通しがもてる「～してから～する」</li> </ul>   | 周りの子ども等への興味・関心が高まり、関わりをもとうとする<br><br>生活の仕方に慣れ、決まりの大切さに気付く   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「かして」など自分の思いを言葉にする</li> <li>友だちと同じ遊びを楽しむ</li> </ul>                     |
|                 | 言葉                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>「うっくん、うっくん」等口を動かし声を出すことを楽しむ</li> <li>語りかけに喃語やしぐさで応える</li> <li>「定位・要求」の指さしが見られる</li> <li>ジャーゴンが始まる</li> <li>「マンマ」「ワンワン」など、音と対象が結びつく</li> </ul>                                     | 体の動きや表情、発声などにより身近な人と気持ちを通わせようとする                                  | 応答的な対応、共感してくれる大人との関係で安心と安全の感覚を得る<br><br>・子守り歌やわらべ歌を聞いて体を動かしたりする<br><br>生活のいろいろな体験を通して、人と関わる楽しさやコミュニケーションの方法を身に付ける  | 言葉の獲得      | <ul style="list-style-type: none"> <li>聞かれたものを指さす（可逆の指さし）</li> <li>単語や「わんわんきた」などの二語文を話し始める</li> <li>語彙が増えてくる</li> <li>「これなあに」など物の名前を聞くことが盛んになり動作や物と言葉を結びつけて理解できるようになる</li> </ul> | 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる            | <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を読んでもらい、簡単な繰り返しを楽しむ</li> <li>片言で気持ちを表す</li> <li>言葉のやりとりを楽しむ</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>「いや」「もっと」「なんで？」など自分の気持ちを表現する</li> <li>大小、長短、多少などの比較判断がわかり始める</li> <li>性別の違いに興味を示し、相手の性別もわかり始める</li> <li>したいこと、してほしいことを身近な相手に簡単な言葉で伝える</li> </ul> | 人の言葉や話など聞き、自分でも思ったことを伝えようとする<br><br>絵本等に親しむとともに、言葉のやり取りを通して身近な人と気持ちを通わせる  | <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な歌やリズム遊びを楽しむ</li> <li>絵本や紙芝居を楽しむ</li> <li>生活の中で言葉のやりとりを楽しむ</li> </ul> |
| 身近なものとかかわり感性が育つ | 表現                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>泣いたり笑ったりする</li> <li>しぐさや身振りで自分の気持ちを表現できるようになる</li> </ul>  | 体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する                                 | 信頼できる大人に見守られながらその子なりの感性豊かな体験を十分保障する<br><br>・手遊びやリズム遊びで体を動かして遊ぶ   | 感性と表現      | <ul style="list-style-type: none"> <li>なぐり描きをする</li> <li>歌や曲に合わせて、声を出したり体の動きで表現する</li> </ul>   | 身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう       | <ul style="list-style-type: none"> <li>なぐり描きを楽しむ（肩支点の往復運動からぐるぐる丸へ）</li> <li>生活や遊びの中で経験したことを再現して遊ぶ</li> <li>音楽に合わせて体を動かし自分なりの動きを楽しむ</li> </ul> | 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする<br><br>生活や遊びの様々な体験を通して、メッセージや感性が豊かになる   | <ul style="list-style-type: none"> <li>見立て、つもり遊びを保育者と一緒にする（動物まねっこ）</li> <li>生活や遊びの中で経験したことを再現して遊ぶ（ままごと、おうちごと、乗物ごっこ）</li> </ul>        |  |
|                 | もの環境                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>音のするものに興味を示す</li> <li>近づく物や動く物を目で追う</li> <li>歌や音に反応し喜ぶ</li> <li>身の回りのものに手を伸ばす</li> </ul>  | 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ<br><br>見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分からかわろうとする | 身近にいる人やそばにあるものを通してできることを増やしていく<br><br>・感触遊びをする（水、お湯、砂、小麦粉）<br>・おもちゃを叩く、振る、落とす、などして遊ぶ   | 身近な環境との関わり | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人と一緒に水、砂、紙など身近な素材に触れる</li> <li>おもちゃを出して遊んだり、一緒に片付けようとしたりする</li> </ul>  | 身近な環境に親しみ、触れ合う中で様々なものに興味や関心をもつ | <ul style="list-style-type: none"> <li>感触遊びをする</li> <li>園庭や戸外で砂や泥んこに触れて遊ぶ</li> <li>生活や遊びの中で色や形に興味をもつ</li> </ul>                               | 様々なものにかかわる中で、発見を楽しんだり考えたりしようとする<br><br>見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする  | <ul style="list-style-type: none"> <li>指先を使って遊ぶ</li> <li>自然や季節に関心もち繰り返して遊ぶ</li> <li>身近な動物に興味、関心をもつ</li> <li>形、大小、色などに関心をもつ</li> </ul> |  |

※乳児の遊びは、成長発達の姿であり自立のための準備ともいえます。乳児が感じること、違いがわかることは考えることに繋がっていきます。つまり、考える、学ぶ、わかるということは感じることを始まりとして身に付けていき、それがやがて知性や、自分をコントロールしたり相手の立場に立つことができる力（理性）の基礎になっていきます。保育者は乳児が自分の手足や五感を通してわかっていくことに見通しをもち養護と教育の一体となった関わりを大切にしていきたいと思います。